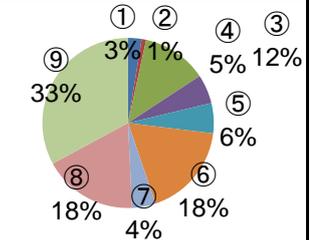
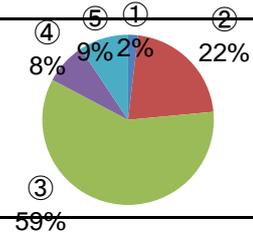


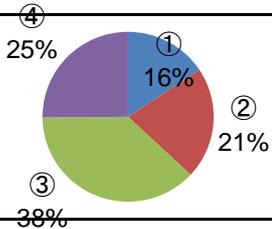
日本センター事業(講座／研修)についての質問票
【ロシア側関係者(研修参加者, 日本語講座受講生, ロシア企業等)】

回答数: 441名

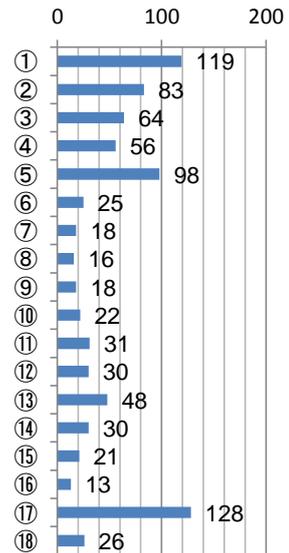
回答者の方へ		
所属		
①	政府, 地方自治体	8
②	国有企業	93
③	民間企業	255
④	国際機関	34
⑤	その他	40
業種		
①	公務員	12
②	鉱業	4
③	製造業	58
④	建設業	26
⑤	運輸通信業	27
⑥	販売／貿易業	84
⑦	金融業	21
⑧	サービス業	84
⑨	その他	155



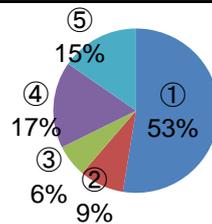
質問1	あなたは、日本センターのどの講座／研修に参加しましたか(参加していますか)	
	事業名	
①	巡回講座	98
②	訪日研修／OJT研修	133
③	現地企画講座	237
④	日本語講座	157



質問2	あなたが参加した(している)講座／研修は、どのようなテーマ(分野)ですか。	
	テーマ(分野)	
①	中小企業経営	119
②	人事労務管理, マネジメント	83
③	顧客満足	64
④	マーケティング	56
⑤	カイゼン, 生産性向上, 品質管理	98
⑥	財務, 会計	25
⑦	イノベーション事業化(ベンチャー)	18
⑧	貿易／経済交流実務	16
⑨	ビジネスプロトコル	18
⑩	小売業	22
⑪	運輸, ロジスティクス	31
⑫	医療	30
⑬	観光	48
⑭	農業／食品加工	30
⑮	環境／ゴミ処理	21
⑯	建設／都市インフラ	13
⑰	日本語	128
⑱	その他(右欄に記入して下さい。)	26



質問3	あなたは、日本センターの講座／研修をどのようにして知りましたか。	
	回答	
①	日本センターのサイトから	247
②	ロシア人材センターのサイトから	41
③	日本企業の知人から	30
④	ロシア企業の知人から	80
⑤	その他(右欄に記入して下さい。)	72



質問4	あなたが参加した(している)講座/研修は、あなたにとり満足できるレベルですか(でしたか)。		
	回答		
①	満足している。	366	
②	やや満足している。	41	
③	あまり満足していない。	2	
④	満足していない。	1	

質問4-2

あなたが、満足している(満足していない)のは次の何ですか。				
	回答	満足している	満足していない	
①	テーマ	250	0	
②	カリキュラム	233	0	
③	テキストのレベル	206	1	
④	講師のレベル	299	3	
⑤	カリキュラムのレベル	213	2	
⑥	施設のレベル	91	0	
⑦	その他(右欄に記入して下さい。)	34	0	
・1. 講師がネイティブ。2. 教授法				

質問5	あなたが参加した(している)講座/研修の内容は、あなたのニーズに合致していますか。		
	回答		
①	合致している。	311	
②	やや合致している。	96	
③	あまり合致していない。	3	
④	合致していない。	1	

質問5-2

あなたのニーズを教えてください。	
<p>※主な回答(下線は編集時に付記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模ビジネス分野におけるアプローチ及び諸問題に係る興味深い情報。 ・マネージメント、イノベーション、カイゼンに関するあらゆること。 ・カイゼン・システムの原則を理解すること。特にロシア企業を例としつつ、それがどの程度効果的に機能するのか知ること。 ・カイゼンのメカニズムと制度の解明。 ・プラクティカルな制度についての情報と経験。 ・日本人の仕事の経験について知ること。 ・期待を裏切るもの、見慣れた物事への新たな見方、サービス提供に係る新たな方法に関する提案。 ・企業経営における日本企業の経験に学ぶこと。経営の実践的なノウハウを知ること。 ・既存の知識レベルの向上と新たな知識の獲得。 ・(ビジネス文化とビジネス関係を含め)日本文化の知識を得る。自社との協力につながる絵を描く。潜在的な解決策のための接点を見つける。 ・日本の経営手法を知ること。 ・労務管理に関心がある。西側と日本のマネジメントにどのような違いがあるのか知りたい。 ・日本のマネージメントは西欧のそれと根本的に違っている。理解して、導入したい。 ・日本企業の実例を伴う新たな情報の紹介。 ・研修では日本企業の仕事を「内側から」見ることを期待した。というのも、日本企業の仕事の内部のアレンジについてはたくさん耳にしていたからである。また、日本企業の企業精神についてもよく耳にしていたので、知りたいと思った。 ・質の高い言語教育、興味深いテーマ、話す機会、ネイティブとの交流。 ・日本的な経営アプローチの特質を知り、それを自分の企業で実際に導入すること。 ・経済関連のセミナーからは、企業経営、個別問題の解決に係る手法についての知識を、日本語講座からは日本語の基礎的な知識を得ること。 ・医療については、日本を取り巻く状況について理解を深めること、そして日本語については日本的な会話の技術や文字、文化について知ること。 ・初めて受講した際(現地企画講座「カイゼン」)、何のことも全く知らなかったが、その後、これが世界的に有名なテーマであることを知り、その後はこの分野の書籍である「リーン生産方式」を読んだほどだ。他のセミナーも同様に興味深く、満足して受講した。 ・新たな知識をもらい、日本企業の仕事の手法を知り、日本人のメンタリティの理解に努めること。 ・知識を獲得し、自分の仕事に導入すること。廃棄物再処理のための先進的機器について知ること。 	

- ・日本企業における質の管理についての知識獲得を期待していた。
- ・空港に勤めており、個人的には航空関係のロジスティクスについて特に知りたかった。
- ・内容は完全に自分の想像と期待に添うものだった。
- ・日本の医療機関及び医療保険について知ること。
- ・自分のビジネスのための新たなアイデア。
- ・新たな治療法、病気の診断。
- ・自社の発展を促進する新たな知識を得ること。最もユニークなマーケティング技術が実際にワークしている活用例。自社の発展のための効果的な制度。
- ・日本企業における製造とビジネス・プロセスの現場を見ること、品質についての日本企業の考えの特徴、品質確保の手法、企業幹部と社員のための主な価値観について理解することを期待していた。
- ・日本の地方レベルでどのようにゴミ処理が組織されているかの情報。

質問6	あなたが参加した(している)講座／研修は、あなたの知識やスキル向上に役立っていますか。		
	回答		
①	役に立っている。	337	
②	やや役に立っている。	61	
③	あまり役に立っていない。	9	
④	役に立っていない。	1	

質問6の2

あなたが参加した(している)講座／研修があなたの知識やスキル向上に役立った(役に立っていない)と考える理由を書いて下さい。

【役に立った理由】

※主な回答(下線は編集時に付記)

- ・自分の会社はコンサルティング・サービスという新たな方向性を開拓している。日本の講師から得られた情報は、国際市場における最新の技術に関する知識を広げるものであり、自己の専門的活動のために適切な分野を選択する上で役に立っている。
- ・日本のビジネス・マナーに関する部分は自分にとっては新しいもので興味深かった。
- ・新たな知識の獲得。実際に導入可能な具体的制度。教材のわかりやすさ。セミナーで得た不断の改善に係る知識と原則は、すでに会社の業務に導入した。
- ・一定の知識とノウハウを獲得し、ビジネスを行うための理論と実践の分野にある程度精通することができた。
- ・自社のプラクティスに導入した一部の方法論は顕著に利益を増大させた。
- ・整った教材の提供。多数の実践的な事例。質問への回答。教材の早期習熟のためのシンプルな問題。良い視聴覚教材及びプレゼンテーション、配付資料。
- ・講師のレベルの高さ。講義の分かりやすさ。プロの通訳。
- ・西欧と日本の労務管理手法の価値観及び方法論的差異に関する比較表が提示された。
- ・教材が大変良く構成されていた。
- ・マーケティングをやっている。国際的なプラクティスを知ることは興味深かった。
- ・研修は自分の知識と職業的技術のレベル向上に役だった。それは第一に、自分の期待が完全に満たされたこと、つまり、研修にあたって自分が設定したあらゆる目的が達成されたからである。また、第二に、研修前には知らなかった大量の新しい知識・ノウハウを得ることができたからである。
- ・受講前は日本語を知らなかった。講師との距離が近く説明も分かりやすい。
- ・様々な観光商品の発展に関する新たな経験、知識、情報は常に仕事へのプロ意識と新たなアイデア実現へのモチベーションとなっている。
- ・研修プログラムは日本の経験を最大限に深掘りして学ぶことを可能とし、あらゆる問題への回答を与え、全方向的に知識レベルを上げることを可能にした。得られた知識をロシアの諸条件を踏まえて導入することで、職業技術が向上した。
- ・セミナーがよく組織されていること、経済関係のセミナーや日本語講座における講師の質が高いこと、経済関連のセミナーの教材が使いやすいこと、日本語講座の教材がすばらしいこと。
- ・訪日研修の実施、公表されたテーマに関するインテンシブかつ中味の濃いプログラム、研修を実施する専門家の高いレベル。
- ・可能であることはすべてすぐに導入するように努めた。多くの物事は、受講したテーマが(自分の業種と)異なっていたために導入不可能であったので、その意味でもうすぐ実施される「企業成長のための労務管理」というセミナーに期待している。
- ・廃棄物処理、環境保全、日本における廃棄物への接し方に関する全般的なコンセプト等に関し、日本の手法と技術に関する極めて貴重な経験を知ることができた。講師は我々の関心事項について詳細に説明した。訪日研修では、廃棄物のリサイクル施設の訪問プログラムの質が高く、また、廃棄物のリサイクルのための機材を製造または運用している企業への訪問が組織された。これらは、パートナー関係ができればロシアの環境改善に資するものである。
- ・「カイゼン」という日本の不断の向上のためのシステムを知ることができた。
- ・講義はロジスティクスの組織について多くの新たな知識を明らかにした。特に、ロジスティック・オペレーションの現場視察が大変有益だった。
- ・幾つかの部分については積極的に自分の仕事と生活に導入して実践している。
- ・日本における遠隔医療、日本の医療機器、病院における業務の成り立ちについて知ったこと。
- ・ビジネス発展のための新たな着想やアイデアをもらった。

- ・製品とサービスの高品質が使用される技術ではなく主に人に依存しているということをしかりとこの目で見た。まさに人に対しより多くの注意を向けなければならない。彼らの教育と動機付けに投資しなければならない。
- ・ロシア企業にはない日本企業の活動における興味深い例や仕事の特質。
- ・日本のゴミ処理に関するある程度の情報を得られた。ロシアの個別の都市におけるゴミ焼却場での焼却に関する日本側(企業)との関係構築について。

【役に立たなかった理由】

※主な回答(下線は編集時に付記)

- ・知識が古くなっており、また、ロシア・ビジネスにプログラムが合致していない。受講生のレベルがばらばらなため、講師は最も劣った受講生のレベルに合わせなければならず、プログラムは企業家というよりも学生向けになっている。

質問7	あなたが参加した(している)講座／研修は、日本企業とのビジネスに役立ちましたか。		
	回答		
①	役に立った。	176	
②	やや役に立った。	74	
③	あまり役に立っていない。	42	
④	役に立っていない。	39	

質問7の2(質問7に1または2と回答した方へ)

日本企業とのビジネスにどのように役に立ったのかできるだけ具体的に書いて下さい。	
※主な回答(下線は編集時に付記)	
<ul style="list-style-type: none"> ・日本型の問題解決アプローチを知っていたことで、日本への商品輸出につながった。また、日本での見本市に参加し、日本人の嗜好を踏まえた出品を行うことができた。 ・ウラジオストク日本センターにおける講座への参加は大変役に立った。同センターでの受講生の選抜と授業の方法が異なっており、自己開発に資するものであった。 ・日本企業の社員が何をしたいのか、彼らの仕事かどのように成り立っているかをもっと良く理解できる。 ・メンタリティと伝統を理解できる。 ・品質管理システムを変更した(品質管理を業務プロセスに組み込んだ。)。企業経営に対する見方を変えた。品質を高めつつ、プロセスを改善しつつ、製造サイクルを減らしている。製品の製造法を改善し、生産コストを削減している。 ・日本企業のメンタリティも踏まえて自社の顧客への対応に関するアルゴリズムを組み立てること。 ・日本のビジネス・マナーをわきまえたロシアのクライアントを仲介している。日本企業がロシアのパートナーに求める要件を理解している。日本の投資家の要求についてもイメージを持っている。 ・日本企業との相互理解が進んだ。設定された目標に導いてくれる毎日の一般的課題がより理解できるようになった。見える化は日本側から明らかに受け入れられている。 ・日本企業の社員の思考様式をより良く理解できるようになった。 ・最初のセミナーを訪れてから2年間の間、会社の離職率は0%で、利益率は25%上昇した。年間の顧客喪失も15%から5%となり、商品の質が向上し、否定的な評価は聞かなくなった。 ・文化を理解し、企業の代表者らと知り合いになり、コンタクトを形成できること。 ・税関規制がもう少し有利になり、許認可手続きがもう少し緩和されれば、ロシア国内での使用のために調達しうる機器の製造業者とのコンタクトができる。 ・社員間の関係、社の課題への取り組みに関する企業戦略の策定において役に立った。 ・日本の製薬会社との取引で役に立った。 ・自分のビジネスはすべて日本のパートナーとの交流によって成り立っている。 ・我々は日本の企業とは直接仕事をしておらず、ホテルで日本からの客を受け入れているだけである。しかし、<u>ビジネスの原則</u>や日本人のメンタリティに関して得られた知識はコミュニケーションを改善しており、双方にとっても有益である。 ・我々の会社は日本企業との協力拡大を計画している。このセミナーは日本企業の職員のメンタリティの価値と特質をより良く理解する手助けとなった。これは我々が互恵的な活動をより良くより早く構築する助けとなる。 	

質問8	あなたが参加した(している)講座／研修は、日本に対するあなたのイメージを変えましたか。		
	回答		
①	肯定的に変えた。	242	
②	やや肯定的に変えた。	137	
③	やや否定的に変えた。	4	
④	否定的に変えた。	0	

質問8の2

あなたが参加した(している)講座／研修が日本に対するあなたのイメージを肯定的に(否定的に)変えた理由を書いて下さい。

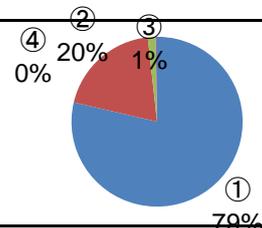
【肯定的に変えた理由】

※主な回答(下線は編集時に付記)

- ・日本に関する発展した国というイメージは変わらなかった。日本のパートナーに対して個人的に温かい気持ちで接するようになった。
- ・どのようにして規範や規則ができたのかという理由が分かるようになり、謎めいて説明不能なものとして日本を見るのがなくなる。
- ・プログラムには日本に関する肯定的な情報が多く含まれている。
- ・どちらかというと、日本についての考え方が変わったというよりは、より良く理解できるようになった。
- ・発展をこの目で見、情報を最新の状態にし、概して日本についての想像が広がった。
- ・日本の「奇蹟」と国の歴史についてより詳細に知り、日本国民に対する強い尊敬の念が表れた。いかに日本が感嘆を呼び起こしているか。このような大きくない国が世界で最も発展した国の一つになるまでにどのような道を通ってこなければならなかったか。その上、広島、長崎、2011年の地震を経てこなければならなかったことを思うと、日本人とともに心が痛くなる。
- ・日本人と交流したが、大変友好的に対話にオープンだった。
- ・2回のセミナー受講後、肯定的な意見しか残らなかった。実際に日本を研修で訪れてみたい。
- ・講義を実施したコンサルタントは自分の国の歴史に対して大変控えめに接していた。日本は多くの分野で進んだ国であるが、共通の利益のために知識を共有することについて完全に心の準備ができていたのが感じられ、当然のことながら尊敬の念を呼び起こした。
- ・講義では、講師の知識レベルと日本のマネジメントの科学と文化に深い敬意を感じた。訪日研修、箱根国立公園や鎌倉市(単独)の視察では、日本の文化や伝統、芸術の美しさと威厳を見ることができた。在日ロシア大使館と通商代表部は、日本のビジネスの正直さと誠実さを賞賛した。日本人は親切、丁寧で素敵な人々であり、非常に好感を持っている。
- ・セミナーの前までに、業務出張で日本に行ったことがあり、その際に日本人の思考や習慣、メンタリティ、仕事へのアプローチについて知っていた。しかし、セミナーにおけるそれぞれの内容からは、さらに新しいことを学ぶことができた。
- ・得られた知識により、日本についてのイメージが補足された。日本人コンサルタントとの交流は日本とのビジネスに関する印象を自分に残した。
- ・概して日本のことを肯定的に見ているので、セミナーによって抜本的に変わるということではなかった。
- ・別の星－日本に行った！
- ・受講前にも日本についてはある程度肯定的なイメージを持っていた。受講により、日本の文化、日本人の特質についてより良く知るとともに、ネイティブの人の文化的経験を直接導入することができる。
- ・研修参加まで自分は一度も訪日経験が無かった。だから外国と外国文化に何を期待して良いのか分からなかった。私が目にしたことは、あらゆる私の期待に優るものだった。研修中、そしてその後も、自分は日本から、技術発展のレベルの高さから、日本における生活の質の高さから、そして日本人という人々から、ポジティブな文化的ショックを受けた。日本人の友好的、開放的な性格、その教育レベルと外国人に対する接し方、助け合いの精神は私を驚かせた。
- ・日本語講師は日本の文化や習慣について話してくれる。
- ・肯定的に変わった。日本人の習慣、観光地、生活様式についてより多く知ることができた。
- ・日本語の勉強を通じて日本に関する多くの興味深いことを学んでいる。
- ・日本に関するイメージは研修参加の前にすでに持っていた。当然、研修は観光分野での官民協力について詳細に解説するもので、国のおもてなしのあらゆるインフラの向上に肯定的に影響している。
- ・よく知られているとおり、日本は以前、とても閉鎖的な国であった。今は、日本は訪れることができるだけでなく、世界に類を見ないユニークで歴史ある経験を共有している。日本が守ってきたビジネス上の伝統については、ロシア語のインターネット空間ではほとんど何も書かれていない。ネット上の情報は問題に答えてくれないが、日本センターのセミナーはそうした可能性を与えてくれる。
- ・日本人のメンタリティが気に入った。喜んで日本人とのビジネスを行いたい。日本について、親愛的な隣人と理解した。
- ・大変多くを知り、日本式経営についてのイメージを持つことができた。
- ・日本のイメージは最初から悪くなかった。しかし、日本語を勉強し、医療の研修にも参加した後では、日本とその国の人々に関してより全体的なイメージを持つことができるようになった。訪日研修の組織に関する日本側の姿勢と配慮がとても気に入った。
- ・日本に関するイメージは全体として肯定的で尊敬の念を持って接していた。セミナー(への参加)及び日本センターの職員(の対応)はこうしたイメージをより強固なものにしただけであった。
- ・最初から日本については肯定的なイメージをもっていた。初の訪日だった。研修によって、日常的なレベルでの日本人観とともに、職業的視点での日本人観も持つことができるようになった。
- ・「責任感ある仕事人で、仕事に多くの注意を払う」という日本人観、日本経済の急発展が会社で必死に努力した普通の日本人の手柄によるところが大きいと考えるようになり、それはより強固なものになった。
- ・日本国民及び日本的メンタリティの特質、日本人の環境及び資源に対する国・企業・個人レベルでの接し方。
- ・何度も何度も訪問したくなる国。
- ・「日本の質」に関する自分の意見が正しかったことを確認した。
- ・日本については常に良い感情を抱き、歴史や文化についての本も読んでいた。訪日研修は日本、日本人及びそのメンタリティをもっとよく知る助けとなった。日本のロジスティクス企業の活動に表面的に触れただけでも、彼らのビジネスにおける原則や、日本企業の成功のための原則などについてよりよく知ることができた。
- ・日本についてのイメージはいつも肯定的なものであった。しかし、トレーニングに参加したことで日本の文化や生活についての理解も改善した。

<ul style="list-style-type: none"> ・日本の医療レベル及び生活レベルの発展の高さ。 ・セミナーよりも訪日研修の方が日本をこの目で見て日本とその文化と人々を愛する可能性を与えた。伝統の保全、勤勉、精進、心のこもった様、これらすべてが日本人に対しての最も温かい気持ちを引き起こす。ビジネスにおいても、日本人は自分のために稼ぐことだけでなく、パートナーにも儲けが残らなければならないと考えることには大変な感銘を受ける。 ・セミナー参加までに日本に行く機会があり、また、日本企業とも仕事をしていた。したがって、セミナー前にも日本について一般的に肯定的なイメージを持っていた。セミナーでは、日本企業を内側から見ることができ、日本に関する肯定的なイメージが向上した。 ・日本の企業と製造者に関する新たな情報を獲得し、製造プロセスの成り立ちについて多くの有益な情報を得られた。 ・日本におけるゴミ処理業界の現状についての知識と情報の幅が広がった。
【否定的に変えた理由】
・回答無し。

質問9	あなたは、日本センターの講座／研修がロシアと日本との経済交流の促進に寄与していると思いますか。	
	回答	
①	寄与している。	317
②	やや寄与している。	79
③	あまり寄与していない。	6
④	寄与していない。	1



質問9の2

日本センターの講座／研修がロシアと日本との経済交流の促進に寄与している(していない)と思う理由を書いて下さい。
【寄与していると思う理由】
<p>※主な回答(下線は編集時に付記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本センターのセミナー／トレーニングは、日本に対する不信感を払拭させている。 ・制裁の条件下で日本センターは日本のビジネス界との個人的なコンタクトに関する情報と可能性を提供し続けている。 ・隣人間の理解はいつも協調の可能性を拡大する。 ・セミナー等は、人々を互いに近づけつつ、経営や日本の様々な分野の特質をより良く理解することに役立っている。これは大変肯定的なものである。 ・信頼を増進させている。 ・セミナーは日本企業の成長の目標と原則、発展の歴史についてより深く理解する助けとなっている。 ・このようなセミナーは、これほどまでに異なった両国民の相互理解を促進する。また、両国経済の成長に関する最も有益な経験を互いに分かち合うことができる。 ・セミナーではロシア人と日本人の交流がなされており、経験の交換とともに互恵的な関係の創設につながっている。 ・両国にとっての互恵的利益というものがある。日本は、国土はロシアに比べて非常に小さく、国境を越えて投資を行う大きな潜在性を秘めている。ロシアは、国土面積は大きい十分な国内投資の可能性を持っておらず、外国投資家に興味がある。従って、これらの関係は間違いなく未来があり、結論として、私たちは可能な限りお互いを知り、生産的に働くこと、調和の中で共生することを学ぶ必要がある。 ・ANOF「日本センター」の活動は、露日協力の発展に貢献していると思う。なぜなら第一にそれは参加者に日本文化についての理解を与えることができるからだ。 ・日本センター主催のセミナーやトレーニングは、ロシア企業の経営幹部層の知識の向上に役立っており、新しい情報を提供し、おなじみの経営手法を新しい見地から覗く可能性を与えている。おそらく、ロシアの企業経営のレベルと質の向上は日本との協力拡大にもつながる。 ・彼らは日本についての知識を持って来る。これはロシアから日本と日本人への信頼を強化している。 ・セミナーは新たなコンタクトと可能性を開拓する。 ・貢献していることは疑いの余地がない。ロシアでは日本語を話せる人が多くないので、日本語能力は言葉の壁を乗り越えることを可能とする他、ビジネスを行う上でより良い雰囲気作りを可能とする。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の技術。セミナー及び研修は技術の発展のレベルを実際に見ることを可能とし、技術の獲得または日本企業のロシア進出を通じて、ロシアにおけるこうした技術の活用を後押ししている。 2. 日本におけるマネージメント手法。このシステムの導入も露日経済協力の発展を可能とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・パートナーとの契約締結の際、得られた知識(日本語能力)を活用することが可能。 ・日本語を勉強しているロシア人は日本企業または合併企業に勤務したり、通訳や日本への出張で日本語を使ったりできるから。 ・お互いを理解し、国の特性とメンタリティを踏まえて対話を行うことを学んでいる。 ・研修の枠内での実務的關係構築の可能性を考慮に入れなくても、少なくとも協力関係を正しく立ち上げるために、日本におけるビジネス交流の文化を知ることができることは有意義である。日本のビジネスの文化と特質を知らなければ、互恵的な経済協力に向けられた建設的なビジネス対話を立ち上げることはできない。日本センターのセミナー及びトレーニングは、露日経済協力の第一歩を踏み出すことを可能にしている。 ・(研修で)日本人のメンタリティーについて知ることができたが、その上で言えば、誰もが彼ら(日本人)と仕事をしたいと思うだろう。 ・個人的な知り合いができ、様々な商品やビジネス習慣に関する知識が得られている。 ・医療に関する研修後、日本の医療機器の需要が上がってきていると思われる。 ・可能性のあるパートナーとの関係ができてきており、協力のための肯定的な雰囲気が形成されてきている。

- ・知見の交換は、隣人をよりよく理解する助けになり、互いの文化を近くし、文化的障壁とビジネス障壁を取り除く。経済交流、ビジネス発展の可能性を拓く。
- ・両国間での経験の交換が行われている。民間及び国の機関の職員には、あらゆる経済分野において日本で採用されている先進的な手法や技術について知るための可能性が生じている。両国が互いに関心を有する分野における対話の設定と協力の強化が進んでいる。また、セミナー(特に訪日研修とセットになっているもの)の結果、すでに構築されたコンタクトにより、両国企業間でより密接な協力が可能となる。ロシアで調達できない機器やサービスを国際市場で探す際に、過去にセミナーを受講した者らは、日本からの調達を選択することができる。なぜなら、そうした機器や材質について知っていたり、日本の製造業の高い文化についての知識があったり、あるいは、研修への参加を通じて形成された日本についての肯定的なイメージがあるからである。
- ・日本人企業家のことをより信頼して受け入れるようになった。
- ・当然大変有益であり、訪日研修参加を可能としている日本外務省と日本センターに感謝している。露と日本は隣国であり、我々は仲良くし、互恵的な貿易関係を持たなくてはならない。これらのセミナーは、日本のビジネスをよりよく知ることを可能とする。パートナーのことを良く知らなければ長期的・互恵的な関係は構築できない。
- ・このようなセミナーの実施の経験と協力は、両国及び国民間の協力関係を改善し強固にしている。
- ・経済、文化を含め国を良く知る助けとなっている。
- ・セミナーは日本文化への理解を促進し、協力強化に導いている。

【寄与していないと思う理由】

- ・回答無し。

質問10	あなたは、日本センターの講座／研修終了後も日本センターとコンタクトがありますか。		
		回答	
①	ある。	283	
②	ない。	83	

質問11	あなたは、今後日本センターとコンタクトをとりたいと思いますか。		
		回答	
①	コンタクトをとりたいと思う。	404	
②	コンタクトをとりたくない。	2	

質問11の2(質問11に1と回答した方へ)

あなたは、どのような時に日本センターとコンタクトをとりたいと思うかを書いて下さい。

※主な回答(下線は編集時に付記)

- ・訪日観光ビザの取得で日本センターの支援を受けられれば有り難い。
- ・大きな満足の意をもってセミナーに参加している。地方において日本のパートナーたちとの協力に関する活動を深めたい。
- ・品質管理、教育・観光・環境保全の分野における露日プロジェクトに関心がある。
- ・日本のビジネスマンとの実務交流の発展。研修、協力についての議論。問題の改善策の模索。
- ・関係維持すること自体が実利目的ではない。意義のある形で関係を維持し、日本センターの行事に参加したい。
- ・セミナーについて適時に(10~12日前)に電子メールで周知してほしい。喜んで参加する。
- ・知見や文化の交換に役立つあらゆる協力においても。
- ・いかなる場合も、日本センターのお陰でたくさんの有益な知己を得た。
- ・セミナー、トレーニング、研修において。
- ・カイゼンに強い関心を持っており、訪日研修に参加してみたい。製造、開発、その他のビジネスプロセスにおける副次的な要素、そして人生のすべての要素の改善にも関係するこの哲学に、自分は大変親しみを抱いている。自分は社員1500名の医療関係企業に勤めている。自分の部署は有償の医療サービスの提供を担当している。組織や性質の異なる幾つかの部署との協力はしばしば大きな困難をもたらしている。自分は品質と顧客満足の確保のため、問題に集中しながら、すべての経過を多くの患者と一緒に実施しているが、品質・顧客満足の確保についてはまだ勉強すべき点がある。
- ・セミナー、トレーニングや研修。ビジネス・イベント、日本のパートナー探し、日本の技術の模索。協力とビジネスマナーに関するコンサルティング。地域におけるビジネスフォーラム等への日本企業の参加招待とアレンジ。
- ・マネージメント全般での日本センターのセミナーに参加していきたい。
- ・日本企業との協力問題。
- ・実施中のプログラムについてより多く知りたい。より頻繁にセミナーに参加したい。
- ・あらゆる場合に。なぜなら日本センターでは大変プロフェッショナルで気持ちのよい人々が働いており、彼らとの交流はいつも楽しいからだ。
- ・新たな行事や予定についての情報。
- ・今後4年間はセミナーに参加していきたい。
- ・マーケティング、広報、販売、クリエイティブ・ミーティングの分野における今後のセミナーの実施。
- ・どのような機会であっても日本センターとのコンタクトを継続したい(研修、トレーニング、セミナー、日本文化研究)
- ・文化行事、今後のセミナーやトレーニング、可能な範囲での相互協力の機会。
- ・日本語学習継続、文化行事や日本語ネイティブ及び観光客との交流行事など。

- ・セミナー等への参加。会話クラブ。ワークショップ。
- ・研修においてピンポイントでの相互協力は行われていないが、新しい経験を学び、企業の活動について学習するのは自分のビジネスにとって常に肯定的な影響を与える。
- ・新たな教育プログラムや訪日研修に関する通知。自分の企業の分野における経験の交換。パートナー及び顧客の発掘。
- ・ビジネスセミナー訪問とあり得べきビジネス協力のため。
- ・日本センターが組織するイベントに参加し、セミナーを受講する。
- ・キャリアアップの必要が生じたり、最新の知見が必要になった際。
- ・特別な知識、そして新しい人々との有益なコンタクトを得ること。
- ・新たなセミナー、文化行事に関する通知を受け取ること。関心を惹いたセミナーや文化行事に参加すること。
- ・新たなセミナーや研修への参加の可能性についての情報入手。より詳細な日本文化への理解。
- ・日本語の学習を始め、交流クラブに参加している。今後は様々なミーティングやセミナーにも参加したい。
- ・興味を惹くセミナーに参加し、日本の文化についてもっと知ること。
- ・環境問題、ゴミ処理問題において、地方レベルでのゴミ処理協力のための日本企業とのパートナー関係の構築。訪日研修への参加(もしあるなら)。

質問12	あなたは、機会があれば日本センターの講座／研修に再び参加したいですか。		② 0%	① 100%
		回答		
①	参加したい。	400		
②	参加したくない。	0		

質問12の2

あなたが日本センターの講座／研修に再び参加したい(したくない)と思う理由を書いて下さい。

※主な回答(下線は編集時に付記)

- ・興味深く、また、日本のパートナーとの交流の機会となる。
- ・セミナーにおける情報はいつも興味深く、また分かりやすく説明されている。新たな技術に力点が置かれている。
- ・これまでの日本センターへの訪問からはいつも肯定的な印象しか残されていない。
- ・講師及び日本センター職員との交流。新たな情報の獲得。関係の構築。
- ・教材も段取りもすべてが気に入った。
- ・セミナーには参加したが、研修にはまだ参加していない。日本という世界の中でもユニークな真珠(のような国)を直接目で見てみたい。日本センターのウェブサイトをいつもチェックしており、自社の社員でテーマに合致する者をいつも研修に派遣している。
- ・自分はビジネスへのアジア的アプローチが気に入っている。
- ・日本の経営システムが気に入っている。また、講義の質も気に入っている。各種セミナーや優れた学習成果も気に入っている。
- ・日本センターによる有益かつ興味深いイベントに参加していきたい。
- ・セミナー参加。日本企業の経験の研究。
- ・いつも何か新しいものを知り、興味深い人々と知り合いになり、有益な仕事上のコンタクトを得られる。
- ・日本に関する知識の拡大。テーマに関する知見の向上。
- ・受講した際、日本センターのプログラムの有効性ととも、スタッフの反応の良さを感じることができた。日本センターと協力していきたい。
- ・研修のアレンジのレベルの高さ、研修で得られた知識の質の高さが大変気に入った。研修、セミナーの後、職業的及び人格的なレベルがアップする。
- ・日本人とのつきあい方に関するノウハウの向上、文化行事への参加、言語学習。
- ・有益なテーマで専門的な講師による講座があるため。
- ・新たな興味深く有益な知見である。直接に情報を得られる可能性である。日本人講師との交流の可能性もある。ビジネス発展につながりうる情報を得られる可能性である。
- ・経営手法に関する新たな知識の獲得。廃棄物処理、環境保全分野における先進的知見の導入。
- ・日本及び日本におけるビジネスの成り立ちについて新たなことを知るため。
- ・木製家具の製造及びそれらの梱包のため、日本企業との協力関係を構築するため。
- ・新たな医療技術について知るため。
- ・自分のビジネス分野で何か新しく有益なことを知り、テーマに近い他の参加者と交流し、他の会社の幹部と知り合いになり、有益なコンタクトを構築すること。
- ・このようなセミナーは日本企業における製造とビジネス運営についてより良く理解する上で重要である。ロシアの企業は日本の例から多くを知ることができる。この目で違いを目にし、そしてそれが当然の帰結として製品の品質と会社の成功という形で現れるのを見ることは大変有益である。
- ・小さな町から大都市まで地方レベルでの廃棄物処理に関する仕事の組み立てについての情報・知識を得るため。

特にコメントがあればお書き下さい。

※主な回答(下線は編集時に付記)

- ・日本センター職員の心配りと友好的な対応に感謝している。セミナーは興味深く知識豊かな内容である。希望することは一つであり、それは地方における露日の中小企業間のコンタクトの拡大である。
- ・あなた方の仕事とイベントのアレンジに感謝します！
- ・センターと受講生との間における恒常的な相互関係の維持が不可欠である。つまり、受講修了後のフォローアップが必要である。
- ・あなた方の多大な仕事に感謝する。我々の工場(中規模の製造業者)のような企業にとって、あなた方はその発展に極めて貴重な支援と貢献を行っている。
- ・技術開発をおこなう日本の学術研究機関が参加するセミナーを開催してほしい。なぜなら、もう少しそれらの組織の活動と成り立ちについて知りたいから。
- ・日本センターは大変良く仕事をしている。日本センターには素晴らしい人々が勤務している。いつも注意深く責任感が強い。ある種の真のプロフェッショナルである。日本センターではいつも日本企業との協力を支援する用意がある。トヴェリ市には日本文化センターが設置されており、協力が発展することを期待する。
- ・日本センターの活動は正しい方向を向いており、最低でも、両国民と国にとり重要である。どうか今後も活動を継続してほしい。成功を祈念する。
- ・フォローアップ・セミナーの開催に期待している。
- ・日本は大変歴史の古い国であり、ロシア人にとって大変珍しい文化と豊かな歴史を持っている。日本の文化は大変気に入っており、今後もっと学びたい。また、研修だけでなく、観光客としても個人的及び内面的な成長のためにも日本を何度も訪れたい。
- ・日本センターのお陰で日本語講座を受講できることは大変気に入っている。また、私たちの講師がネイティブで興味深い人物であることも気に入っている。
- ・日本センターは協力と友好関係のための素晴らしい可能性を与えている。
- ・日本のエチケットと人付き合いに関する追加的な授業がほしい。情報が見つけない時もありウェブサイトを更新してほしい。
- ・セミナー・研修への参加の機会をいただき感謝。今後もこの方向性が継続され対話と経験交換のための新たなテーマが出てくること、受講者数が更に増えることを期待。DOMO ARIGATO！
- ・2012年に研修生として参加したが、よく組織された訪日に感謝している。自分のレベルを上げ、引き続き自己実現をなす上での助けとなっている。
- ・必要なことを注意深く行ってくれており、日本センターの活動に感謝する。
- ・実践なしに経験は生まれない。ロシアのビジネスマンが日本人のようになることは決してありえない。しかし、知識、経験、努力を合わせれば多くの人が今よりも良くなる。
- ・ウェイト、清掃スタッフ、バーテンダー、ホテル支配人のサービルの教育のアレンジにおいて、日本センターから支援をもらえれば大変有益であろう。これらのサービスの質の高さは日本が誇るものであるのだから。形式は、講義と(どこかの施設での実践的なトレーニング)としてもいい。おそらく、こうした専門学校のニーズは極めて高いだろう。日本側が無償で我々ロシア人に提供してくれている知識に大きな感謝を表す。
- ・興味深い講師と多くの新たな情報を得られ、セミナーは大変気に入った。日本センターの他の行事にも参加したい。